

町の天然記念物チョウセンアカシジミ保護！ 高畑牧野から広げる里の デワノトネリコ雑木林づくり

活動地域  岩手県

ひろげる助成

3年目

実践

チョウセンアカシジミ
の生息地づくり

5か所

高畑牧野での
自然体験学習会の開催

10回(日)

今年度計画の達成度

70%

全体計画の達成度

80%



高畑牧野でのデワノトネリコの植栽活動

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルスの児童生徒への急拡大により、人の集まる調査保護活動や環境学習会での実施や案内チラシの配布による参加者募集が難しくなった。

■ 工夫した点

児童生徒を対象とした環境学習会より感染リスクの低い高畑牧野での環境整備活動や水田農村域でのデワノトネリコの植栽活動を優先し、会の関係者等で作業を実施した。

課題

町の天然記念物に指定されたチョウセンアカシジミは、郷土のシンボルとなる珍しい蝶であるが、組織的な保護は図られておらず、岩手山麓における絶滅が懸念されている。

目標

岩手山麓の林野域や水田農村域にデワノトネリコの育つ雑木林を再生し、環境学習の場として活用し、管理することで、チョウセンアカシジミを絶滅の危機から守る。

活動内容と成果

荒廃が進む高畑牧野において、明るい雑木林の再生や自然観察コースづくりを進め、デワノトネリコの植樹活動を取り入れた自然体験型環境学習プログラムを実施した。その結果、町の天然記念物でもあるチョウセンアカシジミの保護や、高畑牧野等岩手山麓に広がる林野の環境を保全し、体験学習に活用する活動を広げることができた。また、デワノトネリコの植樹活動をチョウセンアカシジミ等蝶の生態や森林植生・樹木に詳しい地元有識者の指導・協力のもとに実施し、チョウセンアカシジミの繁殖地を水田農村域で拡大し、保全することができた。



民家の庭先でのチョウセンアカシジミの観察

全助成期間の活動を振り返って

新型コロナウイルスによる感染症が児童生徒への急拡大もあり、参加者数は目標には達することができなかった。しかし、高畑牧野でのデワノトネリコの育つ雑木林づくりや民家の庭先にデワノトネリコを植栽し、チョウセンアカシジミの生息地拡大を進める活動については成功しており、チョウセンアカシジミの繁殖も確認され、チョウセンアカシジミの保護は確実になされた。また、環境学習活動についても一定の成果を得ることができたと評価している。



高畑牧野での雑木林の再生活動体験

〒020-0506

岩手県岩手郡雫石町沼返467-2

電話：0196-92-5899

E-mail：eacgreen1893@gmail.com

HP：http://biological-diversity.com/shizen/iwate/



今後の展望

高畑牧野での環境再生活動・自然体験学習活動と民家の庭先にデワノトネリコを植栽しチョウセンアカシジミの生息地とする活動は、市民住民によるグリーンインフラ整備である。これらの活動を紹介することで、賛同者・協力者を増やし、環境荒廃が進行しつつある岩手山麓の林野域・農村域において、チョウセンアカシジミの保護や生物多様性・自然景観の保全とあわせて、人が自然と共生する緑豊かな環境づくり・風景づくりを行う。

